

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:令和4年度)

| | |
|-----------|-------------|
| 施設の名称 | 宮城県ライフル射撃場 |
| 指定管理者の名称 | 宮城県ライフル射撃協会 |
| 施設所管部課(室) | 企画部スポーツ振興課 |

1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

| 期間 | 管理形態 | 指定管理者(管理受託者)の名称 | 摘要 |
|---------------------|-------|-----------------|----|
| 平成23年 4月 ~ 平成26年 3月 | 指定管理者 | 宮城県ライフル射撃協会 | |
| 平成26年 4月 ~ 平成31年 3月 | 指定管理者 | 宮城県ライフル射撃協会 | |
| 平成31年 4月 ~ 令和6年 3月 | 指定管理者 | 宮城県ライフル射撃協会 | |

(注)管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入してください。

2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

| | | |
|----------|---|--------------------|
| 指定管理者の名称 | 名称 | 宮城県ライフル射撃協会 |
| | 所在地 | 宮城県利府町加瀬字南野中沢40-51 |
| 指定期間 | 平成31年 4月 1日 ~ 令和6年 3月31日 (5年間) | |
| 募集方法 | <input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募 | |

3. 施設の概要【施設所管課記入】

| | | |
|---------------|--|--|
| 施設の名称 | 宮城県ライフル射撃場 | |
| 所在地 | 石巻市沢田字金山51-1 | |
| 設置年月 | 昭和57年 8月 | |
| 根拠条例等 | ライフル射撃場条例 | |
| 設置目的 | スポーツの普及振興を図り、もって県民の心身の健全な発達と福祉の増進に資するため | |
| 施設の内容 | 敷地面積 | 12,174.91㎡ |
| | 構造 | エアライフル射撃場 鉄骨造平屋建(覆道式) スモールボアライフル射撃場 鉄骨造平屋建(バツフル式) |
| 内容 | <エアライフル射撃場>26射座(電子12)、会議室兼ビームライフル射場(14射座)、事務室、更衣室、選手控室、銃器修理室、銃器保管室、審査室、温水シャワー室 <スモールボアライフル射撃場>26射座、事務室、更衣室、選手控室、銃器手入室、審査室 | |
| 開館(所)日 | 休業日(平日、12月29日から1月3日まで)を除く土日祝日 | |
| 開館(所)時間 | 午前9時 ~ 午後5時 | |
| 指定管理者が行う業務の範囲 | 1 施設全体の管理運営業務 2 施設の使用許可及び使用許可の取消し又は停止に関する業務 3 使用料に係る各種申請書の受付に関する業務 4 使用料の徴収に関する業務 5 施設・設備、物品及び敷地の維持管理業務 | |
| 利用料金制 | 採用の有無 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| | 利用料金の名称 | 施設利用料 |

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数

| 項 目 | 事業計画 | 実 績 | | 対計画比 (C)/(A) | 対前年度比 (C)/(B) |
|---------|--------------------------|-------------------------|--------------------------|-----------------|------------------|
| | 評価対象年度 (令和4年度) (A) | 前 年 度 (令和3年度) (B) | 評価対象年度 (令和4年度) (C) | | |
| 開館(所)日数 | 120 日 | 113 日 | 126 日 | 105.0% | 111.5% |
| 延べ利用者数 | 2,800 人 | 1,463 人 | 2,875 人 | 102.7% | 196.5% |

(注)対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入してください。

(2) 延べ利用者数の内訳

| 項 目 | 事業計画 | 実 績 | | 対計画比 (C)/(A) | 対前年度比 (C)/(B) |
|-----------------|--------------------------|-------------------------|--------------------------|-----------------|------------------|
| | 評価対象年度 (令和4年度) (A) | 前 年 度 (令和3年度) (B) | 評価対象年度 (令和4年度) (C) | | |
| スモールホ・アライフル | 50 人 | 57 人 | 90 人 | 180.0% | 157.9% |
| エア-アライフル | 700 人 | 371 人 | 762 人 | 108.9% | 205.4% |
| ビームライフル・ビームピストル | 1,200 人 | 804 人 | 1,456 人 | 121.3% | 181.1% |
| 温水シャワー | 10 人 | 0 人 | 0 人 | 0.0% | - |
| 冷暖房施設等 | 800 人 | 218 人 | 567 人 | 70.9% | 260.1% |
| 会議室 | 40 人 | 13 人 | 0 人 | 0.0% | 0.0% |
| 合 計 | 2,800 人 | 1,463 人 | 2,875 人 | 102.7% | 196.5% |

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入

(単位:千円、%)

| 項 目 | 事業計画 | 実 績 | | 対計画比 (C)/(A) | 対前年度比 (C)/(B) |
|-----------|--------------------------|-------------------------|--------------------------|-----------------|------------------|
| | 評価対象年度 (令和4年度) (A) | 前 年 度 (令和3年度) (B) | 評価対象年度 (令和4年度) (C) | | |
| 県指定管理料 | 5,842 | 5,622 | 5,842 | 100.0% | 103.9% |
| 利用料金収入 | 1,700 | 1,268 | 2,072 | 121.9% | 163.4% |
| その他 | 340 | 1,809 | 407 | 119.7% | 22.5% |
| 収 入 計 (a) | 7,882 | 8,699 | 8,321 | 105.6% | 95.7% |

(2) 支出

| | | | | | |
|-----------|-------|-------|-------|--------|--------|
| 人件費 | 2,046 | 1,674 | 2,000 | 97.8% | 119.5% |
| 施設管理費 | 5,111 | 4,947 | 5,322 | 104.1% | 107.6% |
| 事業運営費 | 725 | 1,959 | 973 | 134.2% | 49.7% |
| その他 | 0 | 0 | 0 | - | - |
| 支 出 計 (b) | 7,882 | 8,580 | 8,295 | 105.2% | 96.7% |

(3) 収支

| | | | | | |
|-----------------|---|-----|-----|---|--------|
| 収 支 (c)=(a)-(b) | 0 | 119 | 26 | - | 21.8% |
| 前期繰越収支差額 | | 119 | 119 | - | 100.0% |
| 次期繰越収支差額 | | 119 | 26 | - | 21.8% |

※ 自主事業を実施している場合は、上記に準じて自主事業の収支実績を別掲すること。

5. 自主事業収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入

(単位:千円、%)

| 項 目 | 事業計画 | 実 績 | | 対計画比 (C)/(A) | 対前年度比 (C)/(B) |
|-----------|--------------------------|-------------------------|--------------------------|-----------------|------------------|
| | 評価対象年度 (令和4年度) (A) | 前 年 度 (令和3年度) (B) | 評価対象年度 (令和4年度) (C) | | |
| 事業費 | 17 | 12 | 0 | 0.0% | 0.0% |
| 参加料収入等 | 35 | 35 | 37 | 105.7% | 105.7% |
| 雑費(寄付金含む) | 0 | | 0 | - | - |
| 収入計 (a) | 52 | 47 | 37 | 71.2% | 78.7% |

(2) 支出

| | | | | | |
|---------|----|----|----|--------|--------|
| 人件費 | 15 | 15 | 15 | 100.0% | 100.0% |
| 施設管理費 | 0 | 0 | 0 | - | - |
| 事業運営費 | 0 | 0 | 0 | - | - |
| その他 | 0 | 0 | 0 | - | - |
| 支出計 (b) | 15 | 15 | 15 | 100.0% | 100.0% |

(3) 収支

| | | | | | |
|-----------------|----|-----|----|--|--|
| 収 支 (c)=(a)-(b) | 37 | 32 | 22 | | |
| 前期繰越収支差額 | 0 | △ 9 | | | |
| 次期繰越収支差額 | 37 | | 22 | | |

※ 自主事業を実施している場合は、上記に準じて、自主事業の収支実績を別掲すること。

6. 評価対象年度(令和4年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

| 項目 | 事業実績 【指定管理者記入】 | | 指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】 | | 県の評価 【施設所管課記入】 | | |
|---------------------|---|--------|---|----|-------------------|---|---|
| | | | | 評価 | | 評価 | |
| ①管理運営体制 | 今年度も通常の管理運営体制については問題ないと思われる。新年度は更に利用者の感染予防と安全確保の向上を目指した管理体制を取る。 | | 今年度は新型コロナ感染も少し落ち着き、大会開催等も通常に戻り、又更に感染予防に努めた、射場管理運営を行った。 | | A | 事業計画に基づき、適切な管理運営体制であったと認められる。大会開催時等には、管理者1人のほか、ライフル射撃協会の会員が運営をサポートしている。 | A |
| 人員体制 | 正規 1人 | 非正規 8人 | | | | | |
| ②施設・設備の維持管理業務の実施 | 例年通り施設・設備の点検・法定点検等を実施し維持管理には万全を図っている。しかし建設から20年近い年月がたち、施設の老朽化が見られるようになった。 | | 施設・設備の維持管理についても、委託または自主点検・清掃等を行っている。 | | A | 施設・設備の維持管理・点検等の一部を外部委託しているが、指定管理者においても、日常点検・清掃等を積極的に行い、施設設備の不具合の早期発見・早期修繕による経費削減に努めている。 | A |
| ③運営業務(ソフト事業等)の実施 | ①段級記録会の実施 ②東北ライフル射撃選手権大会 ③全日本ライフル射撃選手権大会(BR・BP) | | 本年度は新型コロナ感染も落ち着き、大会・記録会も感染対策を行いながら、通常開催となり利用者及び大会等の開催も行われ利用者増に繋がった。 | | A | 日本ライフル射撃協会と連携を図り積極的に全国規模の大会を開催し、競技力向上に努め、コロナ禍以前の水準に近い利用実績となった。 | S |
| ④自主事業の実施 | 今年度も、教習射撃を実施。 | | 今年度も教習射撃受講者が減少した。やはり全国的に射撃人口の減少が影響している。 | | B | 教習射撃を実施し、施設の有効活用に向けた取り組みが見られた。 | A |
| ⑤利用者サービスの向上 | ① 教習射撃講習の実施 ② 空気銃の保管業務。 | | 今年度も感染防止の各施策を実施し、アクリルパネル、空気清浄機等の設置を行い、利用者の感染予防に努めた。 | | A | 新型コロナウイルス感染症防止対策を図り、利用者が快適に施設利用できるよう環境整備に努めている。 | A |
| ⑥利用者の苦情、要望等の把握とその反映 | 本年度もアンケートを実施して回答を得ているが、特に大きな施設上の問題は出ていない。 | | 今後とも大会時にアンケートを求めて行くようにする。 | | B | 大会の都度アンケートを実施し、利用者の要望を把握するよう努めている。 | A |
| ⑦安全対策 | 利用者の安全確保の為に向上を図り、災害時の射撃場での一時避難場所として利用するよう食料等の一部交換と水、発電機の設置等、備蓄を始めとして連絡手段としての衛星電話、半径10km前後の簡易無線装置等の設置を行い、万全を期している。 | | 災害時のみならず、通常時の利用者の安全については常時射撃場内外を点検しており、安全対策は講じられている。 | | A | 施設、設備の自主点検を行うとともに、必要な修繕等についても適切に実施している。また、災害時の連絡体制を整え、食糧の備蓄についても配慮されている。 | A |
| ⑧県民の平等利用 | 特に利用拒否等はない。 | | 県民の平等利用については、問題はない。 | | A | 銃刀法により利用者が限定(ビームライフルは除く)されているが、施設の利用に当たっては、適切に運用されている。 | A |

| 項目 | 事業実績 【指定管理者記入】 | 指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】 | | 県の評価 【施設所管課記入】 | |
|----------|--|---|----|--|----|
| | | | 評価 | | 評価 |
| ⑨個人情報の保護 | 個人情報の入っているデータは射場には普段置かないよう配慮している。又データを使用するパソコンにも暗証番号を使い勝手に使用出来ないよう配慮している。 | 個人情報保護規定に基づき、十分に配慮している。 | A | 個人情報保護規定を設置し、適切な管理に努めている。 | A |
| ⑩利用実績 | 今年度は新型コロナ感染も落ち着き、大会等も通常に戻り、利用者増に繋がった。 | 今年度は利用者も増え、利用増になり、収入面でも増加した。 | A | 積極的な大会誘致や開催に努めたことで、大幅な利用者増につながった。 | S |
| ⑪収支実績 | ① 30年度 2,725,910円 ② 31年度 2,325,340円 ③ 令和 2年度 1,312,190円 ④ 令和3年度 1,268,440円 ⑤ 令和4年度 2,72,740円 | 今年度はコロナ感染も落ち着き、各種大会も感染予防に努め開催された。その為利用者増・利用料収入増となった。 | A | 利用料収入の増加があったものの、人件費が昨年度と比べ増となった。 | A |
| ⑫その他の取組 | 今年度はコロナ予防を考慮しながらも、施設の老朽化による、改修工事(女子トイレの洋式化)等を行った。 | 今後はコロナ感染も収まり、射撃場の老朽化による場所の改修・交換・工事等が増加すると考えられる。又利用者等の安全確保にも十分注意しながらの取り組みが必要となる。 | A | 施設利用者のニーズに合わせて、必要な施設修繕及び備品整備を行っている。 | A |
| 総合評価 | | 年度計画等の内容と一部変更等があったが、適正な管理運営を行っていると考ええる。 | A | 昨年に引き続き、施設の維持管理・設備の充実を図り、適切な管理運営業務がなされている。 | A |

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

| 評価 | 評価の考え方 |
|----|--|
| S | 年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。 |
| A | 年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。 |
| B | 年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。 |
| C | 年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。 |

【県が行う評価の基準(目安)】

| 評価 | 評価の考え方 |
|----|--|
| S | 年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。 |
| A | 年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。 |
| B | 年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。 |
| C | 年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。 |

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

| 項目 | 指定管理者 【指定管理者記入】 | 県 【施設所管課記入】 |
|----------|---|--|
| 管理運営の課題等 | 今後、50m電子標的の設置で、全国規模の大会誘致に積極的に出られる。現射撃場も建築から、20年以上経過し、大幅な改修・修繕等が必要となってきました。特に空調関係・照明(現在蛍光灯)のLED化等が今後の改修とします。 | 今後も日本ライフル協会と連携し、積極的な大会誘致に努めていただきたい。 施設については、計画的に必要な施設の整備を進めていく。 |